

このレターは、当協会にご縁を頂いている経営者の皆様にお届けしています。
答えのない21世紀で奮闘されている経営者の皆様へ

Vol. 87
2024.06.01

U 協 近 畿 通 心

～U協を使い倒しましょう～

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会
近畿事業推進部

【はじめに】

近畿事業推進部の川畑です。自治会総会に出席したあと、近くの公園を散歩してみると写真のような素敵な新緑と出会えました。天気もよく少し風も吹いていて、とても気持ちがよく、心が洗われました。
6月は市のクリーン作戦があるので、この公園のお掃除を頑張ります。

5月26日に台風1号が発生しました。台風1号の発生は、1951年以降7番目に遅いということです。雨は必要ですが、大雨や災害は避けたいですね。大好きな新緑の季節をもう少し長く愉しみたいものですが、思い通りにはならないもの。残り少ない新緑の季節を愉しみます。

5月17日、アメリカ・ニューヨーク市場はダウ平均株価が過去最高の40,003.59ドルと4万ドルを一時超えました。半導体のNVIDIAが引っ張っていますね。日経平均は4月に一時41,087.75円に達しましたが、36,733.05円まで下がり、今少し上がってきていますね。企業の決算発表も終わり、これから日本経済がどうなるのか注目です。景気は気からとも言います。何とか良い機運を作ってもらいたいです。

5月はあるビジネスクラブと大阪4地区の理事会で講演をしました。ChatGPTと生成AIの話は旬なテーマなので、皆さん熱心に聴いてくださいました。6月は京都のセミナー、大阪・兵庫支部理事会でも講演を頼まれました。昨年からの講演の依頼をたくさん頂いています。お話することは自分の知識のアップデートにもなりますし、少しでも世の中でICT活用が進んでいけば嬉しいです。

5月から企業電話対応コンテストの募集が始まりました。こちらは通常の業務が行われている職場に、診断のプロがお客様になりきって電話をすることで、参加企業の”いつもの対応力”を測定します。各支部のHPで案内していますので、ぜひご覧いただき参加をご検討ください。

今月も「U協近畿通心」を愉しんで頂けると嬉しいです。



毎年、銀杏も新緑で私を
愉しませてくれます。
今年もありがとうございます。

【ICT用語豆知識 「Gemini（ジェミニ）」ってご存じでしょうか】

2024年2月、グーグルが同社の生成AI製品「Gemini（ジェミニ）」へのリブランディングを発表し、同社の生成AIチャットサービス「Bard」も「Gemini」に改められました。**Gemini**は、**同社のAIモデルおよびそれを使ったサービス群に共通して使われるブランド名**です。

Geminiとはグーグルの生成AIサービス全般を指す言葉で、従来から用いられていた大規模言語モデル（生成AIモデル）でのブランドに加えて、対話型AIチャット、Google Workspaceなど業務ツール、Android向けアプリなどでも同ブランドが用いられます（いわば、マイクロソフトのCopilotに近い存在と考えればよいでしょう）。最初にAIモデルとしてのGeminiには、**「Gemini Ultra」「Gemini Pro」「Gemini Nano」という3つのサイズ**が用意されています。メールの下書きを作成したり、企画案を考えるためのブレインストーミングをしたり、自分で書いた文章の校正や要約をしたりと、さまざまな用途で利用可能です。最新の情報を反映した回答ができるため、調べものにも使いやすいです。

さらに、画像をアップロードしてその内容について質問したり、回答結果に画像や表を出力させたりすることも可能となっています。

前回は、第116回「速いと遅い」(2023.12.15)をご紹介しました。

今回は、第117回「令和の電話対応教育」(2024.02.15)をご紹介します。

生成AIの進歩は、私たち日本人がもともと苦手な話し言葉を、さらに苦手に行っているようです。口数が減ると、思考力の減退を招き、人間関係も希薄になります。今回は、AIと競合しつつある二つの話し言葉を考えます。

AIがニュースを伝えるのはなぜ

一年ぐらい前から、講演や研修に行きますと、必ずと言ってよいぐらい訊かれる質問があります。

「最近NHKのニュースを見ていると、アナウンサーが伝えた後に、1、2本のニュースをAIのアナウンサーが伝えているのですが、あれはどういう意味があるのですか」。こう訊かれても、私は今はもうNHKの人間ではありませんから、答えようがありません。ただ、推測すれば、「成長を続けるAIを使っただけの、効率化のテストではないでしょうか」とお答えします。このところ精度を上げているAIアナウンサーの、さらなる力の向上を図るとともに、視聴者の皆さんにも、AIのアナウンスに慣れていただくことを意図しているように思うのです。逆に、「AIのアナウンスをお聞きになっていかがですか？」と質問しますと、ほとんどの方は、「特に違和感を感じません」とおっしゃいます。実はこの反応はショックなのです。AIのニュースは、私どもの耳で聴きますと、ただ原稿の文字を音声化しているだけで、伝えるニュースにはなっていないのです。これからも、生成AIは多面的な広がりを持って進歩するでしょう。そして、AIアナウンサーたちは、人間と同等の、さらには人間を超える表現力を持てるようになるのでしょうか。

ひるがえって電話のオペレーターは？

そこで気になりますのが、最近増えつつある電話のAIオペレーターです。電話もアナウンスと同じく、音声表現によるメディアですから、聞く・話すという根源的な能力を問われます。そのAIオペレーターが、利用者からどのような評価を受けているのかというデータは残念ながら持ち合わせません。しかし私の受ける印象は、アナウンスと同じなのです。きれいで上手なのですが、それはマニュアルやスクリプトの文字の音声化であって、残念ながら自然な会話ではないのです。アナウンスと同じで、電話は用件が伝われば良いと割り切れれば、これでいいのかもしれませんが。しかしそれではAIアナウンサーと一緒にです。

電話は大事なコミュニケーションの手段です。用件だけではなく、心が伝わってこそ、AIの対応とは一線を画した、人間の対応となるのです。

上手な対応でなくてもよい！

親切、丁寧、正確、迅速、この四原則の実現を目指した電話対応教育は、電話対応コンクール（以下、コンクール）の上位入賞者にみられるように、きれいに上手に話す素敵な対応者を輩出してきました。しかし、ユーザ協会のもう一つの事業である「企業電話対応コンテスト」（以下、コンテスト）の上位入賞者と比べると、明らかな違いがあります。コンクールのほうは、磨き抜かれた模範的な上手な対応です。一方、実際の対応を審査するコンテストのほうは、台本も状況設定ありません。

事前情報は何もないのです。ですから、絶句したり噛んだりもします。でもその対応はとても自然なのです。間、緩急、強弱、高低、息の声、繰り返し、倒置法などが、さりげなく使われています。

想定外の要求や質問にも丁寧に答えています。それは決してスマートで上手な対応ではないかもしれませんが。時には敬語や言い回しを間違えることさえあります。でも、誠実に、真剣に温かく接する対応であれば、そのほうがお客さまはきっと満足なさるでしょう。

人間オペレーターが目指すもの

完璧で、いわゆる上手な対応は、早晚、AIオペレーターが容易に実現するでしょう。そこで賢明な人間オペレーターは、AIにできないことを考え始めました。まずは指導者の意識改革です。「普段の電話対応の指導と、コンクールでの指導は違います」と、言い切る指導者もいます。そのような意識では、指導者も、教わるオペレーターも、そして審査に当たる審査員も、自己撞着（じこどうちゃく※）を起こしかねません。今必要な教育の柱は四つです。①は聴き、訊く力、②は先が読める判断力、③は心を伝える「息の声」の表現力、④は同じく心を伝える多様で適切な「言葉」の習得です。それが身についた時、電話は自然な対応になります。「心」を伝え、人と人をつなぐことこそ、文字ではない、声の電話の役割だと考えています。

4月には、来年度の電話対応コンクールの問題が発表になります。そして、生成AIから汎用AIに、AIの進歩はさらに新しい時代に踏み込もうとしています。何をどう変えていけばいいのか、令和の電話対応教育を、指導者の立場で、今と一緒に考えませんか。

※ 自己撞着（じこどうちゃく）

同じ人の文章や言動が前と後ろとで食い違って合わないこと。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。 ICTを駆使したSXの事例（1/2）】

前号（第1回）では、企業経営に今、なぜ持続可能性が求められているのか、それに向けてどんな取り組みが必要なのか、そしてICTツールが持続可能性への変革（SX：サステナビリティ・トランスフォーメーション）を推進するのになぜ役立つのかというポイントを紹介しました。しかし、これだけでは具体的にイメージできないかもしれません。そこで今回は、より理解を深めていただくため、ICTを使ってSXを実現した実際の事例を二つ紹介します。

SXの推進に役立つICTとは

まずは、ICTについて説明しましょう。ICT（情報通信技術）は、通信の技術を使って、情報を集めたり、伝えたり、処理したりするものの総称で、具体的には、コンピューター、ネットワーク、データベース、ソフトウェアなどが含まれます。情報の収集、処理、保存、伝送、及び利用に関連する技術を包括しており、現代社会において非常に重要な役割を果たしています。

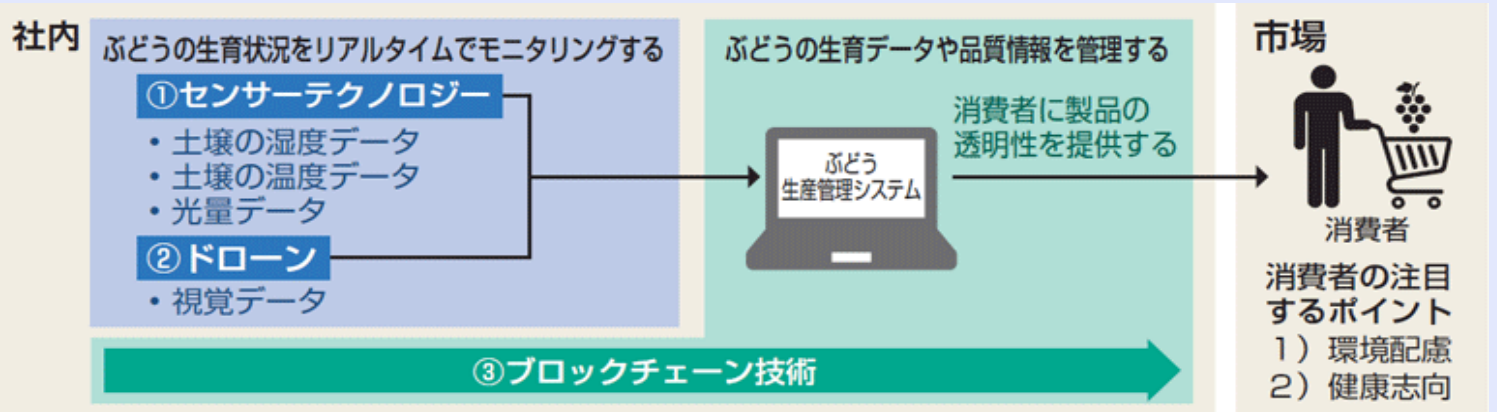
例えば、スマホは電話をかけるだけでなく、写真撮影やメッセージ送信、インターネット検索などさまざまな機能が付加されています。これにより、私たちはスマホを通してコミュニケーションを充実させ生活の質も向上させることができるようになっていきます。

ICTは私たちの生活を便利にするだけでなく、さまざまな業種に革新的な変化をもたらしています。そこでICT技術を駆使してSX（持続可能性を重視して、環境、社会、経済に配慮した企業経営を行えるように変革していくこと）を実現した事例について紹介していきます。

ICTを活用したぶどう農園のSX

ぶどう農園を経営しているA社は、近年の消費者意識調査から、環境配慮につながる商品を意識している人が年々増加していることに着目し、環境に配慮した農産物を販売することで他社との差別化を図り、市場での競争力を向上させたいと考えました。従来の栽培方法から、化学肥料や農薬の使用を最小限に抑える「有機栽培」方法へ転換することで、市場のニーズに適応しようと考え、ICTツールを導入しました（図1参照）。

図1：ぶどう農園のICT ツール導入によるSX の取り組み概要



活用するICTツールの**一つ目はセンサー**です。土壌の湿度、温度、光量を計測するセンサーを導入し、ぶどうの生育状況をリアルタイムで観察・記録することで、**必要な水や肥料の適正な量を供給**できるようにしました。これにより、水や肥料の無駄がなくなりました。

二つ目はドローンです。ドローンによって、地上からでは視認が難しいぶどう園全体の視覚的なデータを収集することができ、高解像度の画像や赤外線画像から、生育状況や病害の発生を視覚的に確認できるようになりました。これらのデータを基に、**必要以上の量の農薬や化学物質の散布を防ぎ、環境への負荷を軽減**することができました。

三つ目はブロックチェーン※です。一つ目、二つ目で得られたぶどうの生産過程のデータや、さまざまな品質情報をブロックチェーンで管理・公開し、消費者に製品の透明性を提供できるようにしました。これにより、**安全・安心を消費者に届けることができる**ようになりました。同農園はICTツールを導入することで、環境へ配慮ができるようになっただけでなく、経済面においても好影響がありました。例えば、ぶどうの生産状況を「見える化」したことが、人やモノ、時間などの資源の最適な利用につながり、コスト削減を実現しました。

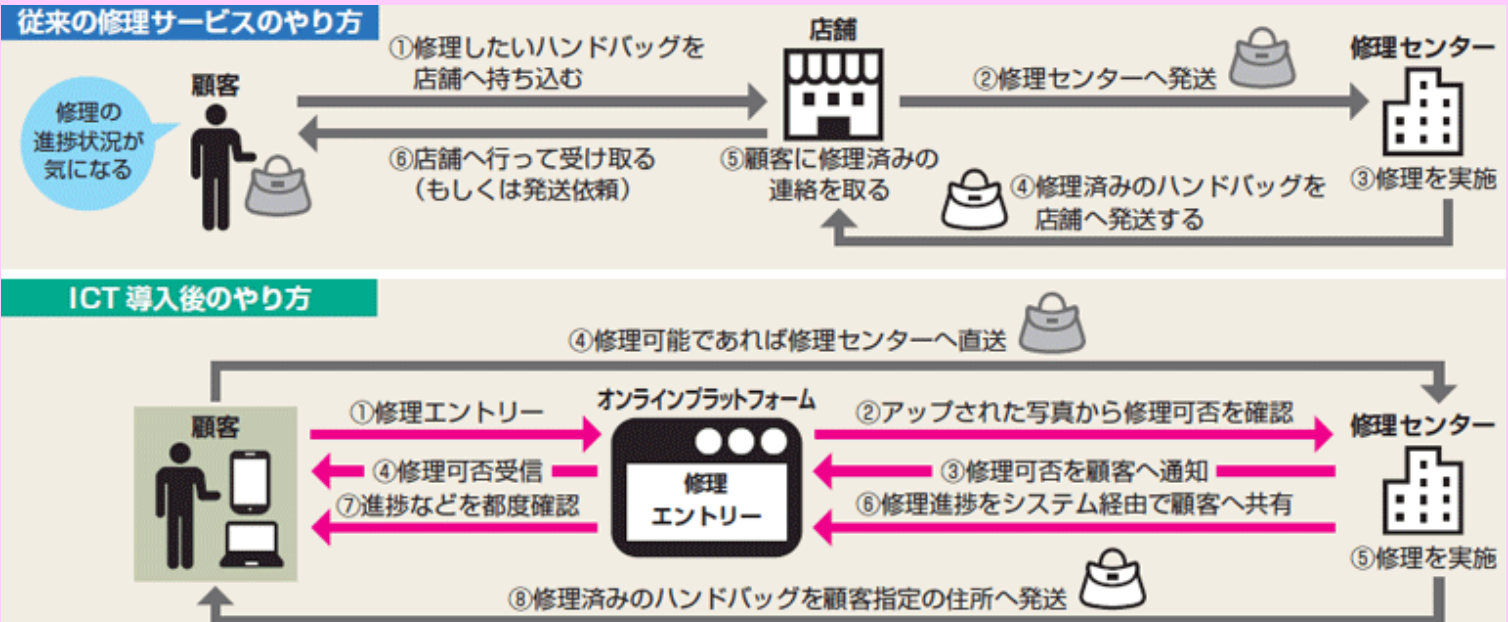
【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。 ICTを駆使したSXの事例（2/2）】

また、品種ごとのデータ分析も可能になり、品質向上にも役立っています。

ICTを活用した装飾品メーカーのSX

ハンドバッグの生産・販売を行うB社は、以前から修理サービスを通じて製品の廃棄を減らし、製品寿命を延ばすことで環境負荷を軽減しようとしていましたが、手間がかかることもあって、修理サービスの利用客は思うように伸びていませんでした。そこでICTに活路を求め、修理サービスをオンライン化するプラットフォームの構築に取り組みました（図2参照）。

図2：ハンドバッグメーカーのSXの取り組み－ICT活用前後



ICT導入後の修理サービスの流れは以下のとおりです。最初の工程、オンライン修理依頼の手続きでは、顧客がオンラインプラットフォームを通じて製品の写真や修理内容をアップロードし、修理依頼を出します。すると、B社の修理対応チームはシステム上で製品の写真や修理内容を確認し、修理可能かどうかを判断します。次に修理作業が始まると、依頼者は専用のアプリケーションでリアルタイムに修理状況を追跡できるようにしました。作業が完了すると、依頼者へ自動で通知が届き、修理品は指定した住所に返送されます。これにより、顧客は修理を待つ間に不便を感じることはなくなりました。その結果、B社の修理依頼数は年々増加し、顧客満足度も向上しています。このように**ICTを活用したオンライン修理サービスは、SXを促進し、環境配慮の面と事業性の両面で成果を上げています。**

環境の面においては、まず修理によって製品が再利用され、**新たな製品を生産する必要を減らす**ことができました。新品製造には原材料の調達、製造、エネルギーの使用などが伴いますが、**修理によりこれらの過程が削減され、CO2排出量が大幅に低減**されます。また、**電子取引により紙の使用が減り、人や製品の移動・輸送に伴うCO2削減**にもつながります。

事業性の面においては、ICTで収集したデータは、社内の改善においてさまざまな活用が可能になります。例えば、蓄積した修理や顧客へのフィードバックなどのデータを分析することで、製品の改良に活かすことができます。また、修理サービスの需要変動をデータから予測し、在庫を最適に管理することができます。

以上のことから、**ICTの活用によりサービス提供の変革が進み、環境への配慮が実現されたと同時に、経済性の向上も図られました。**このように、環境への影響を最小限に抑えつつ、経済的な効率を高めるようなSX事例が増えることが期待されます。

※ ブロックチェーン

さまざまな取引履歴を信頼性のある形で保存することが可能なシステム。保存されたデータの偽造や改ざんがほとんど不可能なことが特徴。

【お役立ち情報：全国参加型ICTオンライン講座、ICTオンラインセミナーいい滑りだしです。】

ユーザ協会は47都道府県に支部があります。これまで地域事業推進部（又は支部）単位でICTオンライン相乗りセミナーを実施してきましたが、それぞれの強み、ノウハウや人脈を活かして、今年度から全国参加型ICTオンラインセミナー、全国参加型ICTオンライン講座を協会内で役割分担して実施しています。全国でまとめることにより、似たようなセミナー、講座をより内容の濃いものにできること、費用も効率的に使えること、企画から運営まで効率的に実施できること、そして全国どこからでも参加できることから、こういう形にしています。

これまでは、主催地域事業推進部（又は支部）で主体的に実施してきましたが、協会も予算や人的リソースが限られているため、改善が必要でした。昨年から全国の地域事業推進部長と本部関係者で議論を重ね、実現にこぎつけました。

まとめることにより、予算的により質の高い内容が可能になり、集客も本部、地域事業推進部、支部と役割分担も明確にしたことから、さっそくその効果が表れています。

企画～運用、フォローアップを考え、偶数月はICTオンライン講座、奇数月はICTオンラインセミナーを開催することにしました。

ICTオンライン講座は300名、ICTオンラインセミナーは1,000名を集客目標としています。ICTオンライン講座は、昨年まで東名阪の地域事業推進部主催でやっていましたが、思うように集客が伸びませんでした。ICTオンラインセミナー「大前さんに学ぼう」は1,000名を超える集客でしたが、他のセミナーは思うように集客は伸びませんでした。

この経験と反省もあり、しっかり役割分担し、取り組み内容や集客状況を協会全体で毎週視えるようにしています。この結果、4月の講座は目標達成106%、5月のセミナーも目標達成197%、6月の講座はまだ集客中ですが、すでに目標達成136%といい滑り出しです。きちんと内容が伝われば、参加を希望される方がいらっしゃるということを我々は今実感しています。1人でも多くの方にご参加いただき、ICT活用推進に活かしてもらいたいです。

ICTオンラインセミナーで、これまで参加者数が1,000名を超えたのは「大前さんに学ぼう」だけでしたが、それ以外のICTオンラインセミナーでも集客ができるという自信もついてきました。協会にとっては、良い経験をしていて、今後もこれを続けることでICT活用推進事業に弾みをつけられると私は考えています。ICTオンライン講座とICTオンラインセミナーをぜひご活用ください。お申込みお待ち申し上げます。

<全国参加型ICT講座>

4月25日（木） 経営者のための情報セキュリティ講座 申込者 304名

6月20日（木） サイバーセキュリティ対策講座① 申込者 407名（5/23現在）

8月 6日（火） ビジネスパーソンのDXリテラシー講座 準備中 6月上旬募集開始

<全国参加型ICTオンラインセミナー>

5月14日（火） デジタル技術が導く地域課題の解決とまちづくりの推進 申込者1,177名

7月25日（木） 大前さんに「AI経営の最前線」を学ぼう 募集中

<募集中のICTオンラインセミナー、ICTオンライン講座>

バナーをクリックしていただきますと申込ページにジャンプします。

オンラインセミナー

2024サイバーセキュリティ対策講座①

巧妙な手口で急増している様々な
サイバー攻撃等を学び、万全の対策を！

普段聞けない
警視庁からの貴重な
講演もあります！

急増しているビジネスメール詐欺の手口と防止策 MSOfficeサポート切れの対応

情報セキュリティ自社診断の活用ノウハウ サイバー犯罪の情勢と求められる対策

2024.6.20[木] 13:30～16:00 ユーザ協会会員様は
参加費無料

大前さんに「AI経営の最前線」を学ぼう

～AI活用によって生産性を向上させる経営戦略～

2024年**7月25日[木]** 13:30～16:30

貴社のDXの推進や新たな経営戦略に役立てていただけるよう、大前さんのセミナーから多くの
ヒントを学んでいただき、マイクロソフト加藤さんからAIの活用シーンをご説明いただきます。

第1部 あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント
大前さんに「AI経営の最前線」を学ぼう
講師 大前 研一氏（ビズオ）、丹羽 亮介 氏（兼マインドシースSG代表）

第2部 生産性向上に役立つAIツールの最新情報（仮）
講師 加藤 聖也 氏（日本マイクロソフト チャネルパートナー営業本部
パートナーディベロップメントマネージャー）

ビジネス・ブレークスルー大学卒業、慶応大学卒業
大前 研一 氏

【お役立ち情報：深化が凄い生成AI。】

講演資料を作成するたびに生成AI情報をアップデートしていますが、凄い深化ですね。今、第4次AI革命を迎えていて、生成AIは凄い勢いで進んでいますね。生成AIサービスが約260製品あります。ChatrGPT連携サービスもカオス状態ですね。講演の中で、生成AIを4つ比較してみました。どれがいいというより、自分でどういう使い方をするかが大事なので、まずはいろいろ使ってみて判断してください。どれも無料で使えます。

OpenAIは、2024年2月に1分間動画を作成するsoraを出しました。プロンプトにテキスト文を入れると、それをもとに1分間動画を作成してくれます。これは凄い事ですね。下のURLをクリックして実際にどのようなものか見てください。きっと驚かれますよ。

<https://openai.com/index/sora/>

さらに今年4月には、ChatGPT4o(オムニ) が出ました。これも凄いですね。人間と自然に会話しています。これはもう近未来ですね。ChatGPT4o(オムニ) 同士でも会話できます。ここをクリックして見てください。→[Hello GPT-4o | OpenAI](#)
これからどんな進化をして、ビジネスにどう影響するのか目が離せないですね。日本語版も近くリリースされるとありました。ぜひ使ってみたいですね。

生成AI	開発会社	リリース	特徴	
ChatGPT	OPENAI	2022.11	深い対話能力	会話型AI 。このAIの核となるのは、膨大な量のテキストデータから学習した深い知識と、それを基にした 流暢な対話能力 です。教育やビジネス、エンターテインメントなど、幅広い分野での応用が期待されています。
Claude	Anthropic	2023.7	明瞭性と安全性	ユーザーとの対話を通じて 明確かつ効率的に情報を提供することを目的としたAI です。このAIの特徴は、その高い 倫理観と安全性 にあります。不適切な内容を避け、ポジティブなユーザー体験を提供することに重点を置いています。
Gemini	Google	2023.12	柔軟性と適応性	旧称はBard。 最先端の自然言語処理技術を駆使して 、豊富なデータベースから情報を収集・分析し、 ユーザーに適切な回答を提供します 。このAIの最大の特徴は、その柔軟性と適応性にあります。様々なタスクに対応し、ユーザーのニーズに合わせて情報をカスタマイズできる点が強みです。
tszumi	NTT	2024.3	日本語処理に強い、軽量・高パフォーマンス	NTTが開発した大規模言語モデル。 軽量でありながら世界トップクラスの日本語処理能力を持つAIモデル です。 コンタクトセンターやソフトウェア開発、医療領域などで活用 され、NTTグループ各社でも導入が進められています。

<原稿大募集しています！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。いつでも待ってま〜す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp（川畑）までファイル（A4）を送ってください。

【オンライン】2024 サイバーセキュリティ対策講座①

巧妙な手口で急増している様々なサイバー攻撃等を学び、万全の対策を！

普段聞けない
警視庁からの
貴重な講演あり

2024年 6月20日(木) 13:30▶16:00

近年、新型コロナウイルスの影響でより世界的にデジタル化が進んだことで、サイバー攻撃の脅威はかつてないほど高まっています。また企業においては、ビジネスメール詐欺が急増しており、その手口も巧妙になっているため、多角的な視点でのサイバーセキュリティ対策が求められています。

本講座では、様々な分野のプロフェッショナルから、対策のノウハウ、サイバー犯罪等の情勢、内部不正による情報漏洩対策、万一被害を受けてしまった場合の備え、などを学んで頂きます。

経営者・管理者の皆様の参加は勿論、社内研修の代行としてもご活用ください！

【カリキュラム】 ※都合により、内容が変更する場合があります。

【第1部】 サイバー空間をめぐる脅威の情勢、ビジネスメール詐欺等への対策【50分】

〔警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官〕

- ◆2023年におけるサイバー空間ではどのような犯罪が多かったのか、事業継続のため求められるサイバーセキュリティ対策について解説します。
- ◆ここ数年世界的に急増中のビジネスメール詐欺は、日本においても例外ではなく被害が急増しています。なぜ騙されて送金してしまうのか、その巧妙な手口をご理解していただき、会社の資金流出を防ぐためにはどうしたら良いのかについて、分かり易くご説明します。

【第2部】 自社セキュリティを見直そう！「情報セキュリティ自社診断」の活用について【30分】

〔東日本電信電話(株) ビジネス開発本部 CXビジネス部 セキュリティサービス担当 岡安 翔太 氏〕

- ◆情報セキュリティの強化には、自社のセキュリティ対策状況を可視化し、リスクを把握することが不可欠です。本講演では、最近のセキュリティインシデント事例を参考に、“今”必要なセキュリティ対策について解説します。
- ◆また、IPAの「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」の活用方法について、実演を交えながら分かり易く説明いたします。

【第3部】 Microsoft OfficeからMicrosoft365へ、サポート期限切れのリスクを解説！【50分】

〔日本マイクロソフト(株) チャネルパートナー営業本部 パートナーディベロップメントマネージャー 加藤 聖也 氏〕

- ◆2025年10月14日にOffice 2016/2019のサポートが終了します。サポート期限が到来したOfficeを継続して利用することで、どのようなリスクがあるのかを解説します。
- ◆また、サポート期限とは何か、サポート期限到来時にどのように対処すればよいのか、新しいOfficeではどのように解決できるのか、なども併せてご説明します。

次回案内 2024年10月と2025年2月を目途に本講座を開催します。内容は、日々巧妙化していくサイバー攻撃に対応するべく、その時々最新のトレンドな題材を提供させていただきます。是非シリーズで受講してください。(別途ご案内)

(注)1.本セミナーの録音・録画は禁止とさせていただきます。ご協力の程お願いします。2.セミナーの内容は、若干変更となる場合があります。

定 員

300名

受講料

5,500円(税込) ユーザ協会会員:無料

お申し込み方法

6月18日(火)までに 右 QRコード または 以下申込サイトからお申込みください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/4346028>



聴 講 方 法

「Zoomウェビナー」にてライブ配信します。URL等詳細は、お申込み直後予約確認メールにてお申込みメールアドレス宛にご案内致します。



ユーザ協会では、ICT活用事例や電話応対教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。

本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。

入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会



【問い合わせ先】 (公財)日本電信電話ユーザ協会 東京支部 ☎ 03-6275-0831 E-Mail: ut-tokyo@jtua.or.jp

プライバシーポリシー(プライバシーに関する公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の確約)

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は、常日頃より関係者の情報を厳正に管理し、プライバシー保護に努めています。ユーザ協会は、関係者様の個人情報は当協会の定款に基づく事業目的以外には、使用致しません。なお、頂いたメールアドレス宛に、今後協会の各種情報を送付させていただきます。

< 募 集 中 >

参 加 費 無 料

大前さんに「AI経営の最前線」を学ぼう ～AI活用によって生産性を向上させる経営戦略～

今後の事業経営のヒントは、このセミナーにあります。お見逃しなく!



一昨年にOpenAI社が「ChatGPT」を無料で公開して以降、様々な分野でAIが活用される機会が増えてきました。

AIを活用した生産性向上による経営戦略の策定は大企業だけでなく、全ての企業規模・業種の企業経営にきっと役に立つものであり、そのきっかけとして本セミナーをご活用いただければ幸いです。

今回は、AI経営の最前線をご紹介します、貴社のDXの推進や新たな経営戦略に役立てていただけるよう、大前さんのセミナーから多くのヒントを学んでいただきます。

募集人数 1,000名(先着順)

【開催日時】 2024年7月25日(木) 13:30～16:30(13:10から接続)

【開催内容】 (13:30開演 16:30終了予定)

第1部 13:40 ～ あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント大前さんに「AI経営の最前線」を学ぼう

〔大前研一氏(ビデオ)、丹羽亮介氏(株)マインドシーズSG代表)〕

第2部 15:20～ 生産性向上に役立つICTツールの最新情報(仮)

〔講師:加藤 聖也 氏(日本マイクロソフト(株) チャネルパートナー営業本部 パートナーディベロップメントマネージャー)〕

【参加費】 無料

【申込方法】 以下URL又はQRコードからお申込みください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/4028921>

※商工会議所等からのご紹介の方は、該当欄に商工会議所等の名称を必ずご記入ください。

【参加方法】 申込時にアクセスURLをメールにてお送りいたしますので、URLからアクセスしてください。

【主催】 (公財)日本電信電話ユーザ協会

【共催】 東日本電信電話(株) 西日本電信電話(株)

※お知り合いの方にもぜひご紹介ください。

【問い合わせ先】各支部のホームページをご確認ください。

電話 0120-20-6660 最寄りの支部につながります。



ビジネス・ブレイクスルー
大学学長、同大学院学長
大前 研一氏



日本マイクロソフト(株)
加藤 聖也 氏



ユーザ協会では、ICT活用事例や電話対応教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。

本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。

入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会



プライバシーポリシー(プライバシーに関する公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の確約)

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は、常日頃より関係者の情報を厳正に管理し、プライバシー保護に努めています。ユーザ協会は、関係者様の個人情報は当協会の定款に基づく事業目的以外には、使用致しません。なお、頂いたメールアドレス宛に、今後協会の各種情報を送付させていただきます。